

**製品名: ROR2 (9T12) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe17324**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	105kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ROR2
別名	BDB; BDB1; NTRKR2; ROR2;
遺伝子 ID	4920.0
SwissProt ID	Q01974
免疫原	ヒト ROR2 の組み換えタンパク質

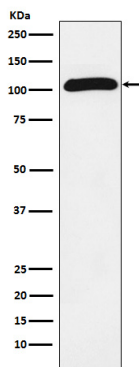
**背景**

軟骨細胞の初期形成に関与する可能性のあるチロシンタンパク質キナーゼ受容体。軟骨および成長板の発達に必要であると考えられる。YWHAB をリン酸化することで、骨形成および骨形成を誘導する。軟骨細胞の初期形成に関与する可能性のあるチロシンタンパク質キナーゼ受容体。軟骨および成長板の発達に必要であると考えられる（類似性による）。YWHAB をリン酸化することで、骨形成および骨形成を誘導する（PubMed:17717073）。対照的に、in vitro ではチロシンキナーゼ活性が非常に低いことも示されている。wnt リガンド WNT5A の受容体として作用し、WNT3A を介したシグナル伝達を阻害する可能性がある（PubMed:25029443）。

## 研究分野

Wnt シグナル伝達経路

## 画像データ



Saos-2 細胞溶解物中の ROR2 発現のウェスタン ブロット解析。